

艇の移動等に関するアンケート集計結果（回答期間：平成28年3月18日～5月9日）

Q2、3、4-1、5-1、8は複数回答された方もいるため、合計と一致しない。

配付数 522 回答数 353人 回収率 67.6%

内容	ディンギー			クルーザー						合計															
	陸置			係留																					
	279人	79.0%		33人	9.3%		41人	11.6%		353人	100.0%														
Q1	まずあなた様について御教示ください。 (氏名や連絡先などの個人情報を含むため省略)																								
Q2	艇には、どれくらいお乗りになりますか。																								
	ほぼ毎日	12	4.3%	1	3.0%	0	0.0%	13	3.7%																
	週1～2日程度	149	53.4%	17	51.5%	30	73.2%	196	55.5%																
	月1～2日程度	95	34.1%	15	45.5%	10	24.4%	120	34.0%																
	ほとんど乗っていない	10	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	10	2.8%																
	その他(内容は別紙1へ)	27	9.7%	0	0.0%	5	12.2%	32	9.1%																
	全体数	279	100.0%	33	100.0%	41	100.0%	353	100.0%																
Q3	運営艇エリアの確保及び湘南港の整備を想定し、皆様の艇の一次的な移動をお願いしたいと考えています。艇の移動について、あなた様のお気持ちにもっとも近いものはどれですか。																								
	初北ヶ、ブレ大会、ブレ大会の期間ごとに、移動が必要な時期にその都度移動する。	168	60.2%	19	57.6%	30	73.2%	217	61.5%																
	その都度移動するのではなく、長期間別の場所に移動したい。(移動は1回のみをしたい。)	86	30.8%	8	24.2%	4	9.8%	98	27.8%																
	その他(内容は別紙2へ)	34	12.2%	3	9.1%	8	19.5%	45	12.7%																
	無回答	0	0.0%	3	9.1%	0	0.0%	3	0.8%																
Q3	Q3で を選んだ方にお伺いします。あなた様のお気持ちにもっとも近いのはどれですか。																								
	a 移動期間中は艇に乗れなくてもよいので、島内のどこかに移動	85	50.6%	9	47.4%	10	33.3%	104	47.9%																
	b 移動期間中も艇に乗りたいため、島外に移動	67	39.9%	9	47.4%	23	76.7%	99	45.6%																
	無回答	16	9.5%	1	5.3%	0	0.0%	17	7.8%																
Q3	Q3で を選んだ方にお伺いします。あなた様のお気持ちにもっとも近いのはどれですか。																								
	a 移動期間中も常に艇に乗りたい。	47	54.7%	8	100.0%	4	100.0%	59	60.2%																
	b ある程度の期間であれば艇に乗れなくて良い。	20	23.3%	0	0.0%	0	0.0%	20	20.4%																
	無回答	19	22.1%	0	0.0%	0	0.0%	19	19.4%																
Q4-1	仮に全ての方に一時的に島外への艇の移動をお願いする場合、希望する移動先の地域を次の から の中から第3希望までお答えください。																								
	江の島近辺	200	71.7%	30	10.8%	13	4.7%	15	45.5%	7	21.2%	2	6.1%	21	51.2%	6	14.6%	1	2.4%	236	66.9%	43	12.2%	16	4.5%
	鎌倉・逗子地域	50	17.9%	132	47.3%	14	5.0%	10	30.3%	13	39.4%	3	9.1%	13	31.7%	22	53.7%	8	19.5%	73	20.7%	167	47.3%	25	7.1%
	横須賀・三浦地域	11	3.9%	9	3.2%	40	14.3%	1	3.0%	3	9.1%	5	15.2%	0	0.0%	7	17.1%	9	22.0%	12	3.4%	19	5.4%	54	15.3%
	横浜地域	3	1.1%	15	5.4%	18	6.5%	1	3.0%	1	3.0%	2	6.1%	3	7.3%	4	9.8%	7	17.1%	7	2.0%	20	5.7%	27	7.6%
	江の島以西	4	1.4%	20	7.2%	27	9.7%	2	6.1%	1	3.0%	3	9.1%	4	9.8%	0	0.0%	2	4.9%	10	2.8%	21	5.9%	32	9.1%
	特段希望の場所はない	3	1.1%	15	5.4%	12	4.3%	0	0.0%	1	3.0%	2	6.1%	2	4.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.4%	16	4.5%	14	4.0%
	わからない	9	3.2%	19	6.8%	26	9.3%	1	3.0%	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	1	2.4%	10	2.8%	19	5.4%	28	7.9%		
	その他	3	1.1%	3	1.1%	25	9.0%	1	3.0%	1	3.0%	1	3.0%	1	2.4%	1	2.4%	2	4.9%	5	1.4%	5	1.4%	28	7.9%
	無回答	0	0.0%	36	12.9%	104	37.3%	2	6.1%	6	18.2%	14	42.4%	0	0.0%	1	2.4%	11	26.8%	2	0.6%	43	12.2%	129	36.5%
Q4-2	移動先について、どのように考えていますか。																								
	県で探して欲しい。	262	93.9%	28	84.8%	35	85.4%	325	92.1%																
	自分で探したい。	14	5.0%	1	3.0%	6	14.6%	21	5.9%																
	無回答	3	1.1%	4	12.1%	0	0.0%	7	2.0%																
Q5-1	移動先までの運搬についてはどのように考えていますか。																								
	県で運搬して欲しい。	256	91.8%	25	75.8%	26	63.4%	307	87.0%																
	自分で運搬したい。	24	8.6%	2	6.1%	16	39.0%	42	11.9%																
	無回答	0	0.0%	6	18.2%	0	0.0%	6	1.7%																
Q5-2	その他移動方法に関して御意見がございましたら御記入ください。 内容は別紙3へ																								
		125	44.8%	17	51.5%	13	31.7%	155	43.9%																
Q6	その他移動に関して何か希望はありますか。(複数選択可)																								
	艇種ごとにレースができる場所に移動したい	84	30.1%	3	9.1%	4	9.8%	91	25.8%																
	自分が所属する団体ごとにとまって移動したい	136	48.7%	3	9.1%	5	12.2%	144	40.8%																
	その他(内容は別紙4へ)	44	15.8%	8	24.2%	21	51.2%	73	20.7%																
	無回答	15	5.4%	19	57.6%	11	26.8%	45	12.7%																
Q7	県としては、移動に伴って発生する費用についても、適切な対応を検討してまいりたいと考えております。現在、移動に際しては、ハーバーでの保管料、移動に係わる運搬費、移動に係わる保険料が発生するものと想定しておりますが、それ以外に必要なと思われる費用があれば御教示ください。 内容は別紙5へ																								
		138	49.5%	18	54.5%	33	80.5%	189	53.5%																
Q8	東京2020オリンピック・セーリング競技大会の期間中、観客席でレースをご覧になりたいとお考えですか。																								
	はい	253	90.7%	25	75.8%	27	65.9%	305	86.4%																
	いいえ	27	9.7%	6	18.2%	12	29.3%	45	12.7%																
	無回答	0	0.0%	2	6.1%	2	4.9%	4	1.1%																
Q9	その他、御意見がございましたら御記入下さい。 内容は別紙6へ																								
		177	63.4%	20	60.6%	33	80.5%	230	65.2%																

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q2 艇には、どれくらいお乗りになりますか。

< その他 > の意見

- 7～9月は週2～3日、5・6・10・11月は月1～2回、他の月はメン
テで月1回
- 月3～4回
- 5～9月で月1～2回
- 天候により月1～2回
- 本年9月まで米国在住10月以降復帰予定
- 7～8月に集中的に乗っている。
- 1～2回/年
- 週3日程度
- シーズン：週1～2回、冬季：月1～2回
- 年に数回
- 1～2回/年
- 冬季は月1～2日程度
- 夏場は2週間に1回ぐらい
- 乗艇しなくても週1回はハーバーを利用
- 2～3ヶ月に1回
- 年5～6回
- 春夏秋：週3回、冬：月1～2回
- 年に3～4回
- シーズン：週1～2回、冬季：月1～2回
- 月2回
- 週3～4日程度
- 10日/年
- 今まで乗れなかったが今後は時間もあり乗艇したい。
- ほぼ毎日整備等で行く
- 夏場はほぼ毎日
- 乗艇しなくても週1回はハーバーを利用
- 3月～11月は週4回
- 主に5月～10月の週末
- 毎週末整備他のため船中泊しています
- 週2～3日

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q3 運営艇エリアの確保及び湘南港の整備を想定し、皆様の艇の一時的な移動をお願いしたいと考えています。

艇の移動について、あなた様のお気持ちにもっとも近いのはどれですか。

< その他 > の意見

- 夏季のハイシーズンを含め 2 年有余も利用できない、あるいは不便を強いられることは、ここの施設を利用する意味がまったく無くなってしまう。
- 葉山港への移籍が可能であれば、時期に関わらず希望します。
- 湘南港を日本のヨットの中心地に相応しく、かつ大規模な国際大会を常時開催可能な規模に拡充（周囲の埋め立てを含む）し、拡充・新設した艇置き場に艇を置く。
- 移動には、大反対。移動ありきの体制なのは納得がいかない。どういう規模の施設やスペースが必要で、オーナーたちの船を移動すれば本当に実現できるのか、計画性がまったく感じられない上にオーナーたちの合意を得ようとする姿勢もまったく感じられない。当然ですが、このアンケートの集計はそのまま公表されますよね？数字の集計ではなくどのような意見があったのか、正しく公表し、ひとりひとりがそれを確認できるようにする義務がある。これ以上一方通行で勝手に進めるのはやめて、きちんと対話をしていただきたい。
- 長期の一時移動であればフリートを束ねて移転し活動を継続したい。オリンピック期間中の 1 ヶ月に限定されるのなら、活動を休み、艇はマストを倒して江の島のいずれかにラック積みで保管
- 現在のハーバーの中か、隣接する旧女性会館跡地の中に移動し、そこで出航・整備を行う。そして、オリンピック競技期間には、出航しないという方法でお願いします。
- 葉山新港に。
- の期間だけでなく、ハーバー整備にも長期間必要になるのではないですか。
- 移動する場合は近場のみ（徒歩可能距離）
- 移動期間が 1 ヶ月で済むのか前提が不透明なので回答しづらい。移動先へのアクセスとセーリング環境にも依存する。
- 協力しないし、移動もしない。非常に迷惑。
- 単に移動と言っても、数字の上では簡単に思えるが実際には個々の艇種によって、その移動に伴う人員は様々である。二人で良い場合もあれば 5～6 人以上必要な艇種もある。またその時の関係者も艇移動に関する最低限の知識を持った経験者が必要である。トラブルについても保障・保険を視野に入れる必要がある。

- 島内で船台に乗せて移動できる場所なら 毎回トラックにつんで遠方に移動させることになるなら を希望します。
- 移動に於いて発生するであろう諸問題を考えると一概に答えられる問題ではないと思います。
- 週に1回程度使用しているため、移動はしたくない。近くに出艇場所を造るべきで迷惑をかけてほしくない。
- 保管料、移動の運搬費の金額とその支払いが誰になるかで希望は大きく変わります。
- 移動する場所、環境、条件によって決めたい。
- 移動先次第ではありますが(たとえば葉山)、長期間移動対応も検討いたします。
- 大会期間中以外は乗れるように。島内に移動希望
- 大会期間中を除いて最大限利用できるようにして欲しい
- 出来るだけ移動したくない。湘南港利用者のフリート活動を優先してほしい。
- 基本的には長期間移動(1回のみ)、移動先が希望通りでなければその都度移動(大会期間中のセーリングは我慢する。)
- 質問の前に移動期間中の艇庫料は免除になるのかどうか明示すべき。また、元の場所に戻してもらえるのか明示すべきです。
- 艇の移動は自力ではできません。協力は惜しまないとしても、70歳代で体力的、経済的に困難です。近場(漁港等)の臨時移動を願いたいです。このために40年前東京から藤沢に引っ越してきました。
- 江の島が使用できる期間は江の島に置きたい。
- 湘南港はヨットハーバーからの移動は考えられない。主な理由は 生活そのものであること、自宅からの距離・時間、出艇頻度、湘南港のインフラ(クレーンによる艇の上下架)など
- 移動したくない。月に3~4回程度利用しており、移動先において湘南港と同一条件で出艇できるかどうか提示・保障もされていないため。また、仮に移動先へのアクセスのための費用の負担はあるのか。移動により不便になることの考慮をしていない。
- 他の条件が示されていない現在何もお答えできない
- 移動しない。移動先で湘南港と同様に艇出できる保障がない。
- なるべく移動したくありません。江ノ島のような環境の整ったハーバーは県下にはないと思います。
- フリートと同じ場所に移動できる限りは、都度でも長期間でも構いません。
- 移動期間中も現在と同じ頻度及び環境で練習ができれば、どちらでもよい。
- インカレの開催地によって、考え方を考えることもある。
- 基本的には江ノ島を利用したいですが、陸送の手段がありません。
- 本大会のみ移動、移動期間中も常に艇に乗りたい。

- スペース計画を考え直し基本はいつも出艇可能とすべし 半分ほどの艇は可能
- 移動ではなく整理することで大会が可能なのでは？
- 逗子マリーナ、葉山マリーナ、葉山新港等、湘南相模湾に面したハーバー、マリーナに置く事。
- オリンピックが成功するために必要なことは協力したい。運営する側の都合でよいが期間は短い方がよい。
- 期間費用負担、補償、移動先条件による
- 移動場所にもよる
- 江の島でのオリンピック開催は反対です。
- 移動には反対。ハーバーの利用者に何の相談もなく、利用者のハーバーライフを無視し、「祝オリンピック誘致決定おめでとう」はない。とても民主主義国家とは思えない。オリンピックに国民として協力したい気持ちはありますが、県の事情の説明、具体的な要請、移動の条件をまず提示願います。やむを得ず移動を是認するなら を選択
- 費用等の問題もあるので でも可能
- 簡易堤防をつくり、水面をつくり、浮棧橋を浮かべる。2 年半後には取り壊してよいし、そのまま使用してもよい。予算はそんなにかからないのでは。
- どちらでも構わない、移動期間中も艇に乗りたい
- 基本的に移動したくない。どうしても移動ならば、短期の移動は、近場のマリーナならOK。長期の移動は、生涯スポーツとしてヨットを楽しんでいる者にとって、江ノ島で築いてきたハーバーの人間関係が心配。
- 湘南港を一時的に拡張して海面及び陸上スペースを確保して移動する。
- オリンピック期間のみ
- 基本的に利用者側メリットのある方法で実行すべき。
- 横浜ベイサイドマリーナなら長期間でよい。
- メンバーに高齢者が多く、できれば移動したくない。
- 移動先が長距離であれば1回も検討します。
- 1/29 の説明会で短期移動は約4ヶ月と説明を受けており、オリンピックでの移動は4ヶ月、プレ、プレプレはそれより短い数ヶ月を考えています。

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q5 - 2 その他移動方法等に関して御意見がございましたら御記入ください。

- 陸送で船台とともに（日曜日あるいは祝日の移動）
- 移動先で混乱が生じないよう、県が利用者の利便性を優先して移動日程を管理する。移動先には駐車場、船具ロッカー、更衣室、シャワー室等を整備する。
- 自分で運ぶ場合も運搬費用は県で全額負担してください。運搬・搬入搬出時の破損について全額保障してください。どのような運搬をするのか事前に説明し合意を得るようにしてください。
- 県民・ハーバー利用者の意見を聞かずにオリンピックを誘致したのであるから、最低限希望地としてほしい。そうでない場合は江の島での開催に反対です。
- 葉山まででしたらセーリング等で海から向かえます。
- 江ノ島からトラックでの活動が現実的かと考えております。
- テーザーは容易にカートップでき移動については問題ありません。島内で出艇に支障があるのであれば島外のハーバーを希望します。
- 県や国で行っていただきたい。
- 移動には立ち会いたい
- 葉山・逗子方面であれば帆走移動という手も考えられる。費用負担なきようお願いしたい。
- 県の費用で運搬してほしい。大便器の増設を。
- 移動に際しては、オーニングを解き、マストを倒し、艀装をはずす必要があります。移動日が土、日曜なら立ち会いたいと思います。平日ならば事前に日程をご連絡頂ければ準備しておきます。
- 旧女性会館跡地であれば、移動はきわめて容易であり、費用も不要である。旧女性会館跡地の利用をぜひもう一度検討をお願いしたい。
- 島外に移動の場合、搬出の人手、運搬車両等の手配、費用を県で負担願います。
- 個人で保管場所を探すのは非常に困難なので、出来れば県で探して頂けるか、あるいは予め各関係団体（マリナーやクラブ等）に受入れ協力の要請を行って頂けると幸いです。
- ヨット運搬の専門業者の利用を希望する。少なくともヨット運搬経験のある業者であること。
- 艇に傷つかないように丁寧に運搬して欲しい。
- 江の島島内であれば自分で運搬可。船台に乗った状態で移動して欲しい。県の費用負担で、現状維持に関して責任を持ってヨットの運搬を扱う専門業者に委託して欲しい。艇に損傷、不具合等が起きた場合、県が責任を持って現状復

帰させること。艇の上には、セール他艀装品等も入れて保管してあるため、移動時は立ち会いたい。

- マストを倒す、現地で立てるなども含め対応いただきたい。
- ジュニアなど特別価格で使用している人たちよりも個人で正規の価格で使用している人を優先に考えて頂きたい。船の保管料が高い人から優先していただきたい。
- 艇の移動について陸送は艇に負担がかかり破損の恐れがある。
- 移動に伴う手配は県側に頼るが、一切を任せることは出来ない。実際にはオーナー及び関係者立会いの下に行動をしたい。紛失物及び損傷などの発生が考えられるため。
- 移動の際の費用と移動してから元に戻る間のおよそ2年間に掛かるプラスアルファの金銭とか時間等の考慮が払われるべきだと思う。
- 毎週ヨットに乗るので移動は厳しい。その都度手伝っていただけなのか？
- 保管料、移動の運搬費の支払いが誰になるかで大きく希望が変わりますので早く決めてもらいたい。
- 梱包作業は自分で行き、運搬時も立会いたい。
- 人手がないため、移動の際の艀装解除や移動先での艀装までをきちんとできる専門業者をお願いしたい。
- 一地区に全数をまとめてほしい
- 艇中に保管しているオーニング、セール、マストその他の備品について絶対に傷つけないこと
- ロッカーに預けている艀装品も一緒に移動してほしい。
- 搬出・搬入の費用、損傷時の保証は県で負担してほしい。搬出・搬入時に人手が必要。移動先は複数の中から選択したい。
- 艇の安全が保証され、自己負担がなければ良い。
- 希望通り葉山港であれば自分で海上搬送する。そうでない場合、県で搬送してほしい。
- キズ・パーツの破損は責任をもって直して下さい。
- 傷付けないこと、壊さないこと、保険にいれること、移動には立ち会いたい
- 立ち会いはしますが、搬入でもなし、止めての搬出でもなし、資金力次第でしょうが、自分で、はいそうですがとは行きませんね。
- 船が古いため、移動には気をつけて運搬してほしい。艇内に備品を保管しているが、入れたままで大丈夫か？船台はどうなるのか。
- 時期に余裕があれば自分で運搬。県に依頼する場合は立ち会いたい。
- 陸上移動の際には立会いたい。破損、事故等が考えられるため。
- 葉山町への移動の場合は自分で運搬を行いたい
- 近場なら自分達で持って行きますが、遠い時は運搬お願いします。
- 江の島ハーバーに近ければ、海上より移動いたします。

- 船の移動時は立会いを希望する
- 艇や台車にダメージを与えない移動方法を希望する。
- 船が大きいので自分で運ぶのは無理です。
- 県が責任をもって移動、事故がおきた場合、すべて県が責任をもつ
- 健康でヨットに乗れる期間は5年程度と考えています。出来れば江の島を離れたくありません。移動する場合でもなるべく移動期間を短くしてください。
- 葉山まで程度なら自分で回送可能（ただし台車は運搬してほしい）
- ヨットマンは艇に対して愛着が強いのでくれぐれも事故等の無いように気をつけて頂きたいです。
- 曳航できる地域がよいと思います。
- 移動後は、マストを立てての保管を希望します。また、ドライバースを希望します。
- 陸置きクルーザーのため、舟台も運ぶ必要がある
- 運搬に従事する人はクルーザーヨットを十分に理解していることが必要です。
- 陸上置きしているので、船底塗料は塗っておりません。海上係留はあり得ないので考慮してください。
- 交通渋滞が予想される夏季なので、自宅から1時間以内に車で行ける上架設備があるマリーナでないと困る。
- 移動場所によって検討します。
- 方法はともかく丁寧に扱ってほしい
- 船台は県で運搬、艇は海から自分で移動
- 茅ヶ崎、平塚以外の場合は県で運搬してほしい。
- 艇は海から自分で回航することは可。但し、同日県にて陸送により船台その他を保管先に移動してもらう必要あり。
- 人手がないため、移動の際の艀装解除や移動先での艀装までを確実にできる専門の業者に依頼していただきたい。
- 現在：陸置、移動先の探し方：陸置 県、水置 自分 船台の保管は県でお願いします。
- 近くなら海路、遠くならトラック
- 逗子葉山なら自走可。当艇の置き場はクレーンの至近であり大会運営上重要な場所と認識していますので希望地への優先的長期移動をご検討願います。
- 移転先での出艇にオリンピック期間中でも問題の無いようにお願いいたします。
- 近い移動先なら自分で運搬しても構わないが、シーボニア以遠なら県で運搬してほしい。自分は基本平日は仕事で動けないので。
- 大型艇なので、当該船の操船経験のある知り合いの業者へ。移動先に合わせた舳ロープと台風用舳ロープの制作が必要。
- 安い方法を考えて欲しい。係留艇は、仮設の船台を作成し陸上げしておき移

動が楽なディングーは島外へ保管するのが素人考えてでは安くすむのでは。

- 江の島を拡張できないか。
- 当然ながら費用負担をお願いしたいし、日程は当方希望日に。
- 希望地以外の移動の場合は県に運搬してほしい。
- 自分で移動するなら適切な費用の支払いを求める。回航費用程度の負担を求める。
- 基本的に自分で運搬したいが、仕事等の都合によっては県に依頼する可能性、選択肢がほしい。
- 万一のために、保険は特別、別途入れて頂きたくお願いします。（もちろん、現在保険には入っています）
- 1ヶ月程度なら自分で運搬するが、それ以上の期間移動するのであれば、県の責任の元運搬してほしい
- 安全に責任を持って移動して欲しい。

[集計結果のページへ戻る](#)

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q 6 その他移動に関して何か希望はありますか。（複数選択可）

< その他 > の意見

- トレーラーの場合は燃料費
- まとまって葉山への移動 / 江ノ島小田急ヨットクラブ内
- まとまって移動を希望しております。
- 出来れば海に出せる状況のところへ移動
- マストや艀装類が紛失するのが心配ですので、移動日が事前に判れば、必ずご連絡頂きたい。
- 私は高齢者であり、個人で活動しているので、今と同じスロープが必要である。又、車を所有していないので、駅から徒歩で行ける場所が必要である。
- 現在は主に個人で楽しんでいるので特に希望はありません。もしレース等に参加する場合は会場まで個人で移動します。
- 協会単位でまとめて
- 月に 1～2 回セーリングが出来る場所にして欲しい。
- 移動する船を決める場合、優先順位の付け方を教えてほしい。
- 独りで出し入れするときにヘルプしてもらえ所
- セーリングは一人でできるものではないので、仲間とまとめて移動したい。
- 艇の移動は熟練者をお願いすべきである。
- この文面では、ヨット活動はレース参加に関わることだと言っているように感じるが、実際にヨットライフを送っている多くの人々は、昔はともかく現在はレース活動にはほとんど関与していない。レース活動はごく限られた人々(主に学生及び実業団所属・ヨット初心者たち)の世界である。1980 年代から 1990 年代はヨット界の最盛期だった。多くの人々と出会ったり交流したり情報交換したり...ヨットライフを経験していない人々にとっては、たぶん理解できないかも知れない。また何らかのグループや組織に必ず所属しているわけでもない。
- 各の希望は叶えられて然るべきだと思う。
- 江の島の島内へ専用ハーバーを作ってほしい
- 江の島でできない期間の保管料とその運搬費の金額を国で支払ってもらいたい。
- 企業ヨット部と一緒に移動したい
- クラブレース等が可能な所
- 費用を県が負担してくださるなら、自分で運搬も可。
- Q 5 - 2 が守れること
- 棧橋やスロープなどヨットハーバー設備のあるところ。

- レース期間の1~2ヶ月程度の移動はやむを得ない。
- オリンピック後も見据えた若手の育成など活動継続が必須です。
- 海に艇を出せるように置いて欲しい
- フリート、全員にて 葉山新港
- 横浜に住んでおり、現在車で40分程度である。同様の移動距離、駐車場がハーバーにある事。
- 江の島に近く、スロープ、水道設備が整っている所であるべき
- 1ヶ月程度であれば、セーリングをがまんできるが、長期にわたる場合は、ぜひ代替施設の手配をしてほしい。
- 何処にも所属なし、友人はいるが単独のブルーウォーター派、近ければよいのですが。
- 自宅に近くて電源設備が整った場所
- 何度も足を運びたくない
- 船種はアクタス。現在、船の上下はクレーンを使用。移動先でクレーン又はリフトの使用可能か。
- 同一艇種をまとめてすべき。理由として同じクレーンが一台で済むし、担当者も少なく済む。
- 10tクレーンを利用している船は同一場所に集める。
- 移動に係る運搬費、移動に係る保険料は全て県の負担とし、利用者負担のハーバーでの保険料は現状と同じとして欲しい。
- 現在のハーバー施設と同等、あるいはそれ以上の環境である事。クレーンが利用出来る所で無いと無理
- 現在クレーンで出港時は下ろしたり、帰港時は上げたりしているので、そのような装置又は類する装置があるところ。または海面に浮かべておくよう交渉して欲しい。
- 私の船はディンギーですが、重量が280キロ程度あるため、クレーンを無償で使用しています。もし移動する場合、江ノ島と同様の設備のあるヨットハーバーを希望します。
- 移動先でのロッカー、クレーンの使用料
- 協会とまとめて。全日本共同開催しているので。
- 自家用車がないので、葉山・逗子近辺を希望します。万一不可能であれば、電車の便がよいところを希望します。
- 船具ロッカーならびに陸置艇の船台及び船台下の荷物も移動してもらわなければ大変困る。
- 現在使用している舟台を利用可の場所にしたい。水に浮かべての保管はしたくない。舟底に追加のペイントが必要なため。
- 現在は陸置きしています。移動先には上下架設備を用意していただきたい場所しだいです。

- 移動後も可能なら海に出したい。また、船内室を使用したい。
- 自宅からあまりに遠くて利用しにくい場所はこまる
- 必ず陸置でなければならない。上下架料の負担はないところ、あるいは県が補償。
- 基本的に移動は好みませんが、やむを得ず移動する場合、負担がないように配慮してください。移動先は、江の島から鎌倉、逗子（小坪を含む）マリーナまでの間に限って受け入れます。県で小坪を整備する場合、恒久的な移動を希望します。江の島近隣・小坪・由比ガ浜でマリーナ整備してください。江の島以西、逗子より南・横浜への移動はいたしません。
- フリートのレース運営に使用しており、まとまって移動したい
- とにかく江の島から近いハーバーが最優先。なおかつ管理体制がしっかりしている所。
- 移動先の係留先は当方クルーは全員高齢ゆえにポンツーン棧橋に係留されることを強く望みます。
- 湘南港と同等の係留施設（浮さん橋等）
安全で使い易い所ならどこでもよいが、クルーザーが移動を一切必要としない方策も考えて欲しい。
- 移動後マリーナによっては船台が必要となるので、その費用まで負担していただきたい。
- 荒天時や台風対策をしっかりやってもらいたい。
- 移動先のバースは、県が一括して借り上げ、県と利用契約を結ぶ形にしてほしい。
- 利用者やロッカーの移動も配慮してほしい。
- 遠くていけない場合、完全に管理して欲しい。
- ディンギーサークルの運営艇として使用しているので、関連するディンギーフリートも同じ場所に移動したい。
- ディンギーとクルーザー及び小型と大型により保管可能な条件が大幅に異なるので一律では無理
- 県外のメンバーもいるので交通の便の良い所を探してほしい。
- 一切の費用負担をお願いしたい。更に移動の日当交通費を頂きたい。（県で移動する場合も当然立ち会う必要があるので）自分で移動する場合は、回航費用程度の負担を求める。
- 都内から江の島と電車で同時間で行けるマリーナを希望。
- 移動先へのアクセスの利便性を配慮してほしい。江の島は特に夏の道路が混む時は電車でのアクセスの便が良い。実際冬でも通常は電車でアクセスしているため
- 現在と同じヨットライフを過ごせる様に、棧橋で水と電気（陸電）がとれる移動先でないと困ります。

- ある程度の複数まとめる
- Q4 - 1の範囲内で移動期間中も常に艇に乗りたい
- 1ヶ月程度なら、強風対策がなされていれば何処でも良い
- クルーズーなので個々の対応しか考えられない。

[集計結果のページへ戻る](#)

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q7 県としては、移動に伴って発生する費用についても、適切な対応を検討してまいりたいと考えております。現在、移動に際しては、ハーバーでの保管料、移動に係わる運搬費、移動に係わる保険料が発生するものと想定しておりますが、それ以外に必要なと思われる費用があれば御教示ください。

- 移動の立会いに必要な交通費
- 移動及び移動先での不便なセーリング活動により湘南港利用者に大いに負担をかけることから、各人への謝礼金の支払いは不可欠。
- 運搬・搬入搬出時の破損全額補償、移動先が現在よりも遠くなったり不便になったりしたことに伴う、毎回の追加費用、迷惑料
- 移動費用及び移動先保管費用と現在の保管費用との差額を県側に負担してほしい
- ロッカーの利用物も移動なるのですか？
- 船具ロッカーに収納している船具の移動、保管料 移動後の活動に伴う出艇費用等
- 艇の移動に際しては、江の島と移動先両方でオーナーの立会いが必要です。そのための交通費等も考慮願いたい。
- ハーバー利用時には県営駐車場を利用しています。移動先駐車場の利用料金に差額が生じた場合には、補填していただけますか。
- 移動した先で、艇に乗る時等に発生する費用について
- ハーバーでの保管料として、ヨットの係留料のほか、船具ロッカー、衣装ロッカーを借りています。
- 旧女性会館跡地であれば費用は発生しないと考えます。
- 運搬、積込、積降ろし、マストを倒す人手の手配も必ずお願いします。
たて置きラックになるとしたらボートが日に焼けるのでボートカバーを用意してください。
- 移動先保管中の艇損傷事故、艀装品の盗難
- 場所によっては、交通費(江の島 届場)
- 船具等の保管用に借りている大型ロッカー及びコンテナ容器の保管場所・保管費用が発生します。
- プレ、本オリンピック共に各 1 ヶ月ずつの期間であれば通年のように年間ベース代金を支払っている人に対しては、その費用内での保証をしていただければありがたいです。
- 代替地への交通費、駐車場代（現在 1 日 820 円）が現状と著しく差がある場合の費用、代替地での管理運営上乗る都度費用が発生する場合はその費用。

- 自宅から移動場所までの交通費
- マストを倒す・立てるなどが自分でできない場合の費用
- ロッカー代、遠方の場合は交通費（行く人全員の分）
- 移動先へのアクセスや保管環境、期間により、かかる費用が変わってくる。
- 感謝料、迷惑料などの示談金
- 移動に関わる費用等の発生は当然であるが、艇種によって考え方は様々である。
- シングル艇・スループ艇・ディセーラー等によって所属関係者の考え方は異なる。また艇所有の人たちの多くは、同時にロッカーも利用している。これらに対してはどうなのか疑問である。
- 新しい保管場所までの毎回の交通費（今との差額分）自宅から江の島より遠くなる場合、乗りに行くときにつど交通費がかかる為。
- 今の時点では想像が付きませんが、心配なのは「検討してまいりたい」という部分
- 江の島で乗れなくなる事の期間損失（逸失利益）高齢になり今後2年間も江の島で艇に乗れなくなる事で最大の人生の楽しみが奪われてしまう
- 乗りたい時に乗れないという担保
- 現在保管料としての支払いは江の島での乗艇に対してのものであり、移動期間中に発生するすべての費用は県が負担するものとする。また、現在艀装品を入れている船具ロッカーの移動先での扱いはどのようにするのか？
- 県の施設である真鶴港の交渉をお願い致します。ハーバーの保管料は設備不良の為減額希望。
- 移動した置き場が江ノ島より遠距離となる場合の交通費
- 江の島ハーバー船具ロッカーにかかる費用（年間契約中）、ならびに移動先での船具ロッカー利用にかかる費用の扱いについて、ご確認くださいようお願いいたします。
- 艇に損傷が無いこと
- 移動に伴う艀装品を含む紛失や盗難、破損
- 江ノ島以外の場所に移動した時の交通費等の費用。例えば三崎に移動した場合、高速代、ガス代等の負担増となる。
- 最悪のケースを想定すると、保管場所が遠方となり実質活動が出来なくなった場合
- 搬出・搬入時の人件費、現在支払い額以上の補填、保管中の盗難・損傷に対する負担（セキュリティ・台風）
- 移動した場所への交通費又は駐車場代等の必要な費用が必要。船台、大雨、台風予防等の費用、備品を保管するロッカー代等も必要。
- 想定外の費用が必要となる場合も県で負担して欲しいです。
- 場所により、キャリアやオーニングを見直さなくてはならない。また、置き

方により艇の劣化も進むと思いますが、必要な経費として考えて欲しい。

- 出艇できない期間については、艇置料等免除して欲しい
- 移動期間中は江ノ島は無料、大会終了後は元通り。移動費は県でコスト負担。江ノ島メンバーの負担はなしでお願いしたい。場所を提供して協力するため。移動された期間については、船に乗ることが出来ないため、県にて負担していただきたい。
- ハーバーを使用できない期間中の補償は？
- 移動先ハーバーが遠方の場合の交通費。太陽光、風雨等保管先の環境条件に応じてオーニングカバー費用。
- 江の島ヨットハーバーから移動することに対する補償
- 現在よりも遠くなる場合の交通費、自分で移動する場合の費用等
- 移動するためには艀装を解く必要がある。移動後に組立てることになるが、これらの手間を「移動」に含まれると考えて良いか？ロッカー備品の移動先での保管についても考えていただきたい。
- 往復に伴う交通費
- マストの上げ下ろしは、一人ではできない。艀装のできる専門業者にさせること。ステーの調整も必要。
- 移動先で出艇に費用がかかる場合はその費用。湘南港を利用した時以上に費用がかかる場合はその費用。
- 年間保管料の範囲内で負担して欲しい。
- 現在江ノ島ハーバーと自宅往復にかかる交通費が移動先の方が多く場合は県が負担する事
- 海面に浮かべておく場合、年に数度の維持メンテが必要に思われるので、その時の陸に上げる費用（クレーン等）
- 設備利用料（クレーン使用料）、入会金等
- 仮に移動中破損が生じた時の修理代
- フリートと離れてしまう場合、都度の移動に掛かる費用。
- 江の島から離れる場合の交通費。
- エンジン付きボートは移動先でのクレーン利用料も必要になるかもしれませんが（江の島では保管料に含まれている）。移動先が江の島から離れている場合、追加の交通費、駐車場代等がかかります。
- 平日に移動の場合、立会いにアルバイトを雇う必要があるので、その費用。移動先で艇を乗るための費用（クレーン、バースの使用料、ロッカー代等。乗れないならレンタル代等
- 部で使っている合宿所をでて、違う合宿所で活動していくことになった場合の合宿所費及び交通費
- 江の島で契約している合宿所に対する費用の手当。1度契約を手放してしまうと、部活の団体へ貸してくれる大家が少ない。移動先での合宿所の確保など。

- 交通費の差額、合宿所を移動した場合の新たな合宿所費用、既存合宿所の維持費、立会人の人件費、迷惑料
- 大会に際しての艇の運搬費、合宿所の引越し代
- 移動の不便さ、交通費の増加等、目に見えない費用等の補償
- 移動した先で使用するロープ・フェンダー等が必要。現在は不必要なもののため。陸置きクルーザーについては、水置きした場合の追加作業（舟底のペイント）が必要。
- 移動先での上下架料金。移動に際する損害保険は必要不可欠です。遠距離になった場合の移動先への交通費。
- 現状との差異が生じることは致命的で、自己負担は無理です。休眠する場合または転籍した時の実費は負担いただきたい。
- 上架艇のためクルーザーの上下架にかかる費用（保管料込み又はその都度などマリナによる）、駐車場代に差額がある場合の費用等。
- ハーバー使用時の費用
- ヨットの移動にともなってヨットセーリングの為の備品が沢山あります。また、その管理と保管の為にロッカーがあります。それら全ての費用をお願いします。
- 海上係留となった場合：使用中の船台の保管、船底塗装諸費用、陸上保管の場合：上下架費用の負担
- 海上保管の場合、船底清掃費。移動先の艇保管上の安全確保。
- 保管先での上下架料等、運用にかかる費用
- 陸置艇は、船台の移動があります。また、移動先のクレーンに適合するか確認する必要があります。クレーン利用料は県の負担にして下さい。陸置艇が移動先でやむを得ず係留される場合、船台の保管をしてください。
 - 1 移動先が民間時の設備等
 - 2 船のクレーン利用料（民間）
 - 3 船の故障時のレスキュー等の環境
- 現在保管料としての支払いは江の島での乗艇に対してのものであり、移動期間中に発生するすべての費用は県が負担するものとする。
- ハーバー指定船台コストと現在の船台の保管場所コスト
- 移転中の輸送保険、移転先の係留料、クレーン料の負担をお願いします。また、江の島では、スタッフの努力で十分な管理サービスを受けていますが、移転先の艇の管理体制も江の島ハーバーと同程度にお願いいたします。
- ハーバーが保管する際の保険料も必要。普段の保険は保管条件が変わるので有効にならない恐れがある。遠いハーバーになった場合、そこに通う交通費も補償してほしい。
- 移動先棧橋に係留するに当たり、当該棧橋に合わせた係留索類が新たに必要になると考えられます。

- 現在は海面に係留しているが、陸置きの場合は上下架にかかる費用、あまりに遠方の場合は往復の交通費
- 船台の製作費用
- 移動先に合わせた舳ロープと台風用舳ロープの制作費。マリーナによっては台風などの荒天時に艇の上架が必要となる場合があります。上下架と船台にかかる費用が必要です。
- 移動先での風水害、盗難などの損害保証
- 移動先での管理費用
- 定係港変更により発生する船検や他の申請手続の諸費用、新移動先への交通費差額や時間的負担への補償、移動させられる感じのストレスへの対応補償
- エンジン等の性能維持の費用。
- 係留ロープの交換、移動先への交通費・駐車場代、保険。置き場所によっては、洗浄が今のようにできず、船の劣化が進む可能性があります。
- あらたな場所での固縛設備の費用。陸地になる場合の船台費用の負担をお願いします。
- クルザーにおいては船台又は係留備品の新規調達が保管場所の状況に応じて必要となる
- 利用者の不便性や新しいハーバー移動に伴う精神的な苦痛、交通費等。当然ながら、利用者は移動したくないので、全ての費用3年分は県が負担。
- 遠くになる場合の交通費、係留にかかる費用（ロープその他）
- 移動先及び帰還時のもやい作成及び加工費。（ロープ代込）メンバーの他港への交通費差額。
- 現在係留されている船が陸置きになるのであれば、出着艇の際の都度上下架料、船台作成料、また一般的には保管に際する保証金
- 江ノ島を基点として移動先のマリーナまでの人の交通費も補償して欲しい。
- 海上係留を陸置きに変える場合は船台の用意・海上係留の場合は、係留索や係留施設の費用、テンドーの用意・移動先の水深が浅い場合は浚渫などの費用や防波うねり侵入対策の費用
- 別な場所での仮保管中の艇の損傷などはどうなるのか。係留艇なので定期的なメンテナンスは必須だし、陸置き保管となると1ヶ月程度でも船底塗料はダメになるし船台費用も発生します。
- 当艇は海上保管なので陸置きする場合は船台が必要です。
- 回航屋さんに頼んだ場合の費用
- オーナー等に当日の日当、交通費を支払う。（県で移動する場合）自分で移動する場合は回航費用程度の支払。
- 移動先への余分な交通費、ガス代、ガソリン代、駐車料金（クルー分含む）、整備の際に余分に係る費用
- 移動先での水と電気がとれる係留先の費用を現在と同じようにご負担お願い

したいです。

- 移動後、便利な江の島とは違い、不便な所へ移った場合、ヨットに通う交通費などの不要な出費が生じる。
- クレーン等設備を利用した際、江の島との差額分
- プレブレ大会からの長期間の移動となった場合、ロッカー料も考慮して下さい。また、当艇は水置きのため船底塗料の塗り替えのできる施設の利用のことも視野に入れてください。
- 係留用品、今まで以上にかかる交通費
- 維持、管理、修理が出来ない港ではさらに移動や上下架に係る費用が発生する。
- 江の島に来る交通費より移動先に行く交通費が高額となる場合は差額を要求する。

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に係る艇の移動等に関するアンケート調査結果（回答期間：平成 28 年 3 月 18 日～5 月 9 日）

【自由意見】

Q 9 その他、御意見がございましたら御記入下さい。

個人が特定されうる内容については、記載していません。

- 四人の仲間とディンギーを始めました。まだ艇も贅沢品扱いで物品税が課せられ、陸置き場所は高倍率の抽選会を経てやっと利用ができる、まさに夢のような時代でした。Q 3 の設問で その他と回答しましたが、オリンピック開催に係る単なる艇の移動等として捉えるのではなく、開催後を見据えた施設（当然、考えられていると思いますが）を望みます。まず、該当者の多く？は我々同様高齢化し、いつ辞めようかとタイミングを伺っています。まさに、今回のことは好機到来？と思います。現状を見るまでもなく平日は閑古鳥が鳴き、シーズン中でも賑わいは今一つというところです。そこで、再編を視野に利用廃止等のアンケートも有りかと（ただ、これも仕掛けが必要と思います）。今後、開催に向けて、組織委員会の過酷かつ過大な要求を如何に裁くか、ご担当者の苦労が目につかびます。因みに、小田急セーリングクラブに対してどのような対応をされるのか、興味のあるところです。また、Q 8 の設問は、説明会等での要望を踏まえてのことでしょうか？
- 移動先の保管料は江ノ島より高額になると思うが、どうなるのか心配。協力できるかぎり協力したいとは思っています。
- 運営面では並々ならぬご苦労があると存じますが、ご検討よろしく願いたします。
- 私たちは昨年江ノ島に移動してきました。当時このような事態になる事は説明を受けておらず、本来はそのような説明もあるべきではないかと思えます。移動先を探すにあたり、葉山港を希望しておりましたが、空スペースがあるにもかかわらず受付はしていないとの事で入れませんでした。もし葉山港への移動が可能であれば、それを希望します。
- 大会中ボランティアとしてぜひお手伝いしたいです。その為レースオフィサー（運営資格）やジャッジの資格も取得しました
- 湘南港のヨットを分散移動させることは、湘南港で築かれたヨットコミュニティの破壊を意味する。一度破壊されたコミュニティの復旧は不可能である。県は、オリンピックによって湘南港のヨットの伝統を発展させるのではなく、ヨットの伝統を破壊するという愚行を犯そうとしていることに気付くべきである。
- 県は、オリンピックのみを見て一時しのぎのヨットの移動策ばかり考えている。オリンピック後を見据えて湘南港を日本あるいはアジアのヨット競技の中心地として相応しい規模に拡充するという長期的な視点を持って欲しい。

- 県は、湘南港利用者の県に対する不信感が強まっていることに危機感を持つべきである。不信感の背景は県の担当者のヨットに対する無理解と官僚的な対応である。早急に湘南港利用者、ヨット連盟関係者、江ノ島住民を含む関係者による協議会を県主導で立ち上げ、最大多数が賛同できる長期的なグランドデザインを描き、その中でオリンピックへの対応を考えていくべきである。
- オリンピックには全く興味ありません。移動ありきで、突然このようなアンケートを突きつけられては困ります。艇を置いている方たちの同意を得ずにこのようなことが強要されるのはどういうことか？納得のいく説明をしてください。大変迷惑。開催について計画性がほとんどない県の対応をみていると、果たして責任をもって艇の移動、移動中の管理、元に戻すということができるのか。トラブルがあったときの対応などがまともにできるのか。甚だ疑問。そもそもセーリング競技は夏の江の島でやるのは無理ではないか。あきらめて今のうちに用地の確保ができる蒲郡かどこかで切り替えたらどうか。世界に対して恥をかく前に。
- オリンピック終了後はバース・ロッカー場所共に現状と同じ所であることを保証してほしい。(今の場所は利用勝手等を加味してやっと確保したもの。) オリンピックのために増設・改修等したものは当然利用者にとっても使い勝手が良いもののはずである為残してほしい。なお、その前にハーバー利用者の意見を聞く場を設けてほしいと考えます。
- 今活動している団体の活動場所をなくさないでほしい。環境の整っている江の島だから活動できるということも考慮して適切な対応をしていただきたい。
- ヨットレースは、沖まで船を出さないと、レースを間近で見れないので、運営上許される場合ですが、Web キャストの方法で、全レースの様子を海上以外でも共有できるシステムを希望します。
- 学生だけでも江の島ヨットハーバーから出なくてもいい方法を再考していただきたいです。理由としては、どうしても江の島の安全な環境での活動をどうしてもやっていきたいからです。
- まだ決意しているわけではないが、他のハーバーに移動しても通えないので、これを機に処分したいとも考えているが、処分する費用は負担されるのか。
- オリンピックセーリング競技大会の JSAF ボランティア登録はしてあります。海・艇とは接してきたいので、よろしくご配慮お願いしたい。
- まだ現時点での情報による決定は困難なため、今後の情報で最終決定したいと思います。
- 海外のレースでは地元のヨット乗りがホストとして交流が生まれる。海域の特殊性なども彼らから学ぶことが多い。このようなヨット乗りの文化を大切にすべき。江の島で 50 年ぶりに開催される絶好のチャンスに際し、少なくとも学生やジュニアには世界中から集まるトップセーラーを間近に見せるべき。地元のヨット乗りを排除するのではなく、いかにオリンピックセーリングの運営に

協力させるかという視点で考えるべきと思料する。

- 船具ロッカーの移動も必要でしょうか？
- 江の島 YH から移動しても変わらず快適にセーリングできる場所を提供してほしい。オリンピックを終えてより進化した江の島 YH に戻ってくるのが楽しみ。江の島会員向けにオリンピックレースに関われる優先権的なものを検討していただきたい。例えば観客席の優先入手、ボランティアによる運営関与、海上観戦等
- 私は妻と 2 人でヨットの出入れをしています。私は 60 歳代で、あまり腕力もありませんので、砂浜でのヨットの出入れは妻と 2 人では不可能です。もし、どこかに移動するにしても、スロープのあるヨットハーバーをお願い致します。
- ハーバーをあまり利用しない人とは移動によるダメージが全く違います。多い日数を利用している人には、それなりの配慮があってしかるべきと考えます。また、私は高齢者であり、単独で活動しており、車も所有していません。今のハーバーでないと活動が出来ません。(スロープが必要、駅から徒歩など)今のハーバーの片隅または隣接する旧女性会館跡地に陸置させていただきたいのです。もちろん、オリンピック競技関係期間は出航しない等の協力はいたします。県は多くの費用と時間をかけ各地に分散させたいようですが、労多くてヨットマンに恨まれるだけだと考えます。そこで、旧女性会館跡地への移動を提案します。再度検討をお願いします。現在、陸置のディングーに限ると 900 隻以下です。1 隻当たり必要な面積は $2\text{m} \times 5\text{m} = 10 \text{ m}^2$ で、900 隻として $9,000 \text{ m}^2$ 。通路分として 1 隻あたり 5 m^2 として、 $4,500 \text{ m}^2$ 。巾 5m の通路が出来るので船と船とがすれ違い出来ます。旧女性会館跡地は $20,000 \text{ m}^2$ あり、差し引くと $6,500 \text{ m}^2$ 残ります。高度制限内でも 3 階建は可能ですから、 $6,500 \text{ m}^2 \times 3 = 19,500 \text{ m}^2$ の延床面積が確保でき、メディアセンターだけでなく、他の用途にも十分と考えます。もし、不足であれば、旧女性会館のゾーンだけを高度制限を緩和すればよく、6 階建てなら $39,000 \text{ m}^2$ の延床となります。緩和の名目は防災です。オリンピック後は津波に対する地域の防災センターとなります。国の発表では今後 30 年間に首都直下型大地震がおこる確立は 70% となっております。そしてオリンピック開催中に津波が来ないとは誰も断言できないと考えます。今ある島頂部への避難経路は巾 1m しかなく、両側の木造家屋が一軒でも地震で倒壊すれば先に進めません。以上より、ディングーは旧女性会館跡地に移動し、オリンピック運営センター棟(オリンピック後は地域防災センター塔(オリンピック後は地域防災センター))を作るのが最善と考えます。
- 県の対応が遅すぎます。リオのオリンピックで忙しいなど言い訳になりません。口だけでなく、行動を早く起こして下さい。
- 第一の要望は、活動を継続できる環境を提供していただきたい。移転先は江の島島内もしくは、葉山新港です。江の島から出艇できない期間が 1 年のうち 3 ヶ月でられたいとしたら許容できる人はほぼゼロ。

- 定年退職していれば、レースを手伝うことができます。
- 艇種の団体のメンバーとして活動、練習をして楽しんでいますので、そのコミュニティが壊されずに活動できると良いです。オリンピックは楽しみなので、何かお手伝いできればと思っています。
- 当クラブは他のクラブに個人で活動している選手や神奈川県連とも連携して活動しています。それぞれがバラバラになってしまうとうまく活動できないため、移動場所をそろえて頂く、移動期間を限りなく短くする等の配慮をお願いします。
- 出来る限りの協力はしたいと思う。2年の長期間の活動休止になると少々考える。湘南港での保管料分は支払いを続けるとして、それを上回る差額については県側に負担頂きたい。
- 移動する場合、運搬そのもの以上に、移動する先の理解と了解を得ることが一番重要である。移動先の責任者（ハーバースタッフ等）に、移動者・移動艇について間違いなく申し送りすること。移動先では、いつ・誰が・どこに・出艇し・帰着したか、を責任者らが把握できる状態であること。レスキュー体制が整っている事は、安全対策上も必須。移動の期間中に移動先との間で課題が生じた場合は、県が仲裁を行うことも検討願いたい。また、協力させていただく以上、我々もオリンピックを楽しみたい。レース観覧のほか、会場内でのボランティア活動に優先的に参加できる等の配慮を願いたい。
- 観覧艇にて見たい（有料可）。
- 常に乗っている方々、ジュニア学生ヨット部を中心に、ぜひとも江の島内のスペース（1番奥の駐車場西側、女性センター跡地の西側等）に3段ラック式の艇置場を設置していただきたい。
により現在江の島ハーバーを利用しているメンバー、ジュニア、青少年と各国オリンピック選手と交流が出来るようにご検討きたい。ジュニア・青少年の為にも将来の選手育成の為にも。隔離するのではなく、交流親しみが持てるオリンピックになるように。
- 現江の島ハーバー利用者で準備段階・本番時、お手伝いが出来る登録制のボランティア制度をぜひ設立していただきたい。
- オリンピックを目指している。引き続きなんらかの方法で使用したい。
- オリンピック終了後は、もとの戻してください。
- 出来るだけ移動期間を短くして欲しい。
- 移動が前提で検討が進められているようですが、湘南港の拡張はお考えにならないのでしょうか？湘南港の岸壁の外は保安庁の艇などを係留するスペースなのかもしれませんが（大昔は伊豆諸島への定期船が利用していたとか）、このスペースに臨時の棧橋を仮設することでかなりの係留スペースが確保できると思いますがダメでしょうか。

また、湘南港の利用者にはヨットに乗るだけでなく、「湘南港で過ごす一日」

を楽しまれている方も大変 大勢いらっしゃいます。このような方々にとっての憩いの場を何とか維持していただきたいと考えます。高齢者も多く、2年のブランクは死活問題という声も聞きますし、実際その通りだと思います。

- すべての種目を江ノ島にせず、近隣のマリーナにも協力を仰ぎ、集中を避けることも協議なさってはいかがでしょうか？
- 三浦市には未使用の港湾スペースがあります。東京ディズニーランドは千葉にあります。東京国際空港も成田にあります。江ノ島開催も「湘南開催」と換言すれば、今よりも実施にむけての検討の幅が広がると思います。
- どうか叡智を結集して、素晴らしいオリンピック・パラリンピックを実施するとともにその後の神奈川県のマリンスポーツの振興や防災対策につながるマスタープランを策定願います。
- 1. レース海面

代表選手は体力があるはずだから、遠くにする必要はない。そのことにより定置網の一時撤去が不要になる。漁業組合との話し合いがついているとの噂を漁業関係者から聞いた。134号線で見るのは危険。海水浴に来ている人は興味ないし、陸から見てもフィニッシュはわからないから見る必要なし。大型画面で写しても角度次第。また、七里ヶ浜等の遊泳禁止場所に人が大勢集まった場合に、ライフセーバーもいないので危険。同様に砂浜で風が強い場合もある。その責任は県が持つのか。

2. 移設先に三崎漁港との噂が流れているが、交通の便が悪いし遠すぎる。家族で船に乗りに行く場合に全員分の交通費は出ますか。船の備品を持って行く場合は車になってしまう。

3. 一般の方へ我々が2年半もの間江の島から追い出されることをもっと広報しないのは不公平だ。一部で座り込みして反対すればメディアが取り上げるといふ話も出ている。

4. 観客席はどこに設置するのか。現ヨットハウスがデザインされた時にも我々の意見は通らなかった。江の島の外へ移設ではなく、レースやメディア用スペースを2階3階4階にすればよい。今回建設された建物は某大学への転売が決まっているとの話が聞こえてくる。ヨットハーバーで女性センターに全ての艇が納まる設計図を作っている人がいる。そういったアイデアやプランを跳ね除けないでほしい。

5. 江の島開催でなく、葉山の高層マンションを建てる計画をやめれば葉山新港で開催できるはずだ。

6. 移設状況によって、艇を諦める方が出た場合の賠償金（艇の放棄、江の島に艇を置く権利の放棄）は出るのか。漁業組合だけへの賠償金では済まない。

- セーリングは一人でできるものではなく、仲間とコミュニティを楽しむものでもあるので、仲間と一緒に移動したい。移動期間、移動先の候補（アクセス・環境）など具体性に欠けるのでアンケートにも答えずらい。海外でみかけ

るようなポンツーン式のスロープを活用して低コストで仮設ハーバー施設を整備する、もしくは既存施設の収容能力を一時的に増やすという方法も選択肢としてあるのではないか。

- オリンピック委員会に協力するかどうかは未だ決めていない。折り合いがつかなければ協力する気はない。
- このビッグイベントの準備作業によって、現状の活動人員及び艇は、たぶん30%程度は廃棄又は他のハーバー活動メンバーへの転売または譲渡提供などの手段によって減退するものと思う。また、このビッグイベントの終了後、外部へ移動していた艇及び付帯する備品等は、移動前の(現在の)位置へ戻れるという保障はあるのか？現在、活動していない・出来ない実業団、学連・同好会そして個人活動が多々存在している。(理由は様々である。)さらに実業団といっても実質個人レベルでの維持運営をしているところもある。今までに廃部となったところも多々ある。古くから存在しているクラブ組織は、どれも活動低迷中。活動が低迷している理由は様々である。このアンケート調査において、興味のある人たち、ない人たちに大きく二分されている。例えば学生においては、現在現役であっても来年・再来年には卒業、就活などで現役活動から離れてしまう。また社会人においても転勤・転職・リストラ・自立などで先のことは不透明である。また、東京オリンピック2020を境にヨット活動を辞めてしまおうとすでに考えている人々も実際にいる。結局、当該時期においては、現在の人たちはどれだけ真剣にこの事案を考えようとしているのだろうか？かつて新建屋建造に伴って当時の臨時バース陸置き艇への移動通知が関係各位に発送され関係者はそれぞれ指示通りに移動したが、一校だけ未対応であった。なぜなら通知を受けた代表者は、現役へ移動対応の指示を怠ったからである。現役に聞いたが誰も移動指示の件を知らされていなかった。期限になって業者が移動、紛失物発生、誰の責任？移動先・置き場所においても、庭付き住居があり、その庭先へ保管できる人。勤務先が保養所等を所有していて、その場所に艇の保管が可能である人たち。学校キャンパス等に空き地がありそこへ保管可能な人たち。シングル艇の場合、自家用車所有の人で、カートップが可能な人。様々である。これからますます想定外の事案が発生してくると思います。この書面に記載した事案は一部のもので、40年以上の江の島ヨットハーバー参りをして感じた事・思っていることの一部を記載しました。今までいくつかのビッグイベントがこのヨットハーバーで行われてきましたが終えた後果たして・・・
- 成功を祈ります。
- 江の島での競技開催は避けられるのであれば避けた方がよろしいかと思われまます。
- 島外での搬出は絶対に反対です。最悪島から500m以内での移動をお願いします。このアンケートははっきりしないというものの移動ありきの質問で困り

ました。話し合いをしっかりと詰めて下さい

- 2年程度移動しっぱなしは勘弁してほしい
- 観客席でのレース観戦を優先してもらえらなら移動も可
- オリンピック、プレ大会、プレプレ大会の期間ごとに、移動が必要な時期にその都度移動する場合、こちらでどの程度ヨットを解体するのか。オリンピック、プレ大会、プレプレ大会の期中、我々はハーバーに出入りは可能か。艇の移動先は、ハーバー内をお願いしたい。
- 本来、江の島開催をするにあたっては、既存施設を利用するという時点でまず先に、利用者の意見を尊重すべきであり、開催が決定してからの艇の移動を含めた利用者軽視の流れに納得できないところがある。
- 移動先に関して、最低限の安全確保、環境設備を求む。
- オリンピック時に使用したヨットは一般に安価で払い下げ等の考えは有るのか？
- フリートと同一の港への移動にしくご検討をお願いします。移動先については、出着艇が安全に効率的にできること、遠征するためのトラックへの積み込み積み下ろしが安全にできること（必要があればこの機会に整備することもよいのでは）等の確認をしたう、候補地については決定前にご連絡をお願いします。各自で独自に移動先を選んで費用補填してもらおうスキームが検討されているのか？
- 早く移動したい。真鶴港を特に希望。
- 1月の説明会ではかなり踏み込んだ応答があったにも関わらず、今回のアンケートは漠然としている。
- 江の島でのセーリング競技のボランティアをやりたいです。
- 江の島から移動する期間を必要最小限にする努力をしてほしい。また、移動する場所については、船具ロッカー等も含めてできる限り江の島での活動状況と同等の条件になるように検討してもらいたい。
- フリートでの活動がメインとなりますので、基本的にはフリート事務局の判断にフォローしたいと考えています。
- プレ大会等は江の島のオフシーズン(1~3月ごろ)に開催すれば、影響は少なくてすみます。活動できない時期が長ければ、部員の新規募集にも影響があるので、部の存続も危ぶまれます。
- オリンピック開催により活動を大幅に制限されるため、部員・活動メンバーの減少を懸念している。期間中および開催後の江ノ島バース代等の減額を検討いただきたい。また、移動先に関しては、艇の移動だけではなく、ロッカー等の設備移動も合わせてお願いしたい。
- 企業ヨット部にとって活動が中断するのは、存続そのものに影響する事です。オリンピックはスポーツ振興も大きな意味をもっており、開催によって逆にセーリングを続ける人が減ってしまう事を危惧しています。移動するにしても継

続した活動、レースなどが出来る事を大前提にご検討をお願いします。ディングーについては江の島内の空きエリア、例えば湘南大堤防防波堤のエリアに仮設フェンスを設置すればかなりの艇が保管可能だと思います。距離はありますが、ハーバースロープの利用も継続が可能だと思います。（あるいは駐車場を堤防エリアに移す）あるいは、東浜海水浴場に仮設置場、浮体式防波堤・栈橋を仮設する事も検討されては如何でしょう。また、オリンピックをヨット競技振興に活かすためには社会人クラブ・学生がオリンピック観戦を優先的に出来るような施策を講じて頂きたい。

- 情報公開は前倒しでお願いしたい。
- フリートで運営委員をしています。オリンピックでのボランティア等あれば参加したいです。
- オリンピックの開催には積極的に協力したいと思います。
- 基本的にはオリンピック協力したく思います。
- オリンピックには全面的に協力します。私たちが開催のためにボランティアなど必要なら呼びかけて成功に向けて行動する用意があります。
- オリンピックの開催には積極的に協力したいと思います。ただし、ハーバー利用者にかかる不便は最小限にしてください。
- 文書、説明会の案内が届いておりません。
- 観客席と言わず、観覧艇を出してほしい。老若男女とわず様々なセイラーが意見を言うと思いますが、既存の艇の移動なしには考えられないのであれば、あくまでも移動期間中の22人負担は県がもってほしい。また、事務的に高圧的に行うのではなく、相手の立場に立って接し、検討して下さい。お忙しい中誠に御手数がかかりますが、何卒お願い申し上げます。
- 現在のグループやフリートの活動に支障をきたすような移動は避けて頂きたい。
- 女性会館のスペースを有効活用すれば移動しなくても済む可能性がある。個人的には簡単な駐車場のような2F - 3Fの簡易建物を構築する。何とか江ノ島に置いてセーリングが出来ない期間を短縮して欲しい。その場合シングルハンダーで縦置きが可能な艇は縦置きしてスペースを少なくする。
- 自由意見 オリンピック憲章に「オリンピック競技大会のよいレガシーを開催都市ならびに開催国に残すことを推進する」とあります。小生（いつまでレースが出来るか分からない老セイラーです）の所属するフリートは64年東京オリンピックのセーリング競技が江の島で行われ、レースを間近で見て触発された小学生、中学生、高校生が時を経て自前で安価な船を持てるようになってフリートが出来、その後にレーザー級、レーザーラジアル級がオリンピック種目に採用され、国内では国体種目になる一方OP級を卒業した若者たちがレーザー各級へステップアップし成長しレーザーワールドのカテゴリー別の金メダルを獲得したり、ナショナルチーム入りからオリンピック選手へと育っていく過

程にフリートの存在が深く関わり現在に至っております。我々にとってのレガシーは上記のような半世紀に渡るこの様な醸成こそがオリンピック憲章の言わんとしているレガシーであると信じて疑いません。今回ご提案の「少なくとも2、3年どこかに消え失せろ」と言っているように聞こえる知恵のかけらも感じられない叩き台は、「64年当時はそんな憲章は無かったから半世紀の時をかけて育ててきたレガシーは壊しても構わない」と云う意味の一方的な暴論以外の何ものでもないと思断言致します。20年東京オリンピック、セーリング競技を成功させる為にも、真面目に、真剣に、そして「努力と知恵と工夫」を最大限に発揮され、利用者の不便がミニマイズされるよう在江の島各艇種団体とも連携を図りながら取り組むよう期待して止みません。自由意見 日本セーリング連盟のナショナルトレーニングセンター機能は和歌山にある事は先刻ご存知だと思いますが、オリンピック誘致には成功しても、そのトレセンが唯一オリンピック開催の江の島では無い事実を恥ずかしく受け止める必要があるのではと思います。単なるハーバー建設と管理だけだからこそ、今の実態があり、何か大きな要素が不足しているのではと考えられます。この度の「スポーツ局」発足を機会に和歌山と比べ、何が不足しているのか、どうすれば凌駕できるのかを真剣に対策することで、オリンピック成功へのヒントも得られると同時に、次のセレクションではトレセンの誘致に成功するのではないのでしょうか。ご検討ください。

- 私は1964年の前回オリンピック大会終了の翌年から江の島ハーバーにディンギーを陸置きしています。再度、江の島でヨット競技が行われることをとても嬉しく思い、心より大会の大成功を祈っています。
- もう少しセーラーの立場にのっとって考えてほしい。工事のやりやすさを優先としないこと。
- 移動期間は極力短く、且つそれに伴う費用は県で負担していただきたい。
- ロッカールームの使用は、現状のまま期間中も使えるのか？
- 現在、ディンギーヤードだけで942艇保管スペースがあるが、オリンピックで必要なスペースはどれ程なのか、すべての艇を移動させる程の艇が世界中から集まるのか？
- 特にプレ大会、プレプレ大会では、どの程度のスペースが必要なのか？
- オリンピック期間中は、利用者にとってもヨットのハイシーズンであり、利用できないのは本当に残念。十分な配慮をお願いしたい。
- 1964年のオリンピック、ここ江の島でのレースは残念ながら見る事ができませんでした。機会あって、早い時期、ハーバーへは難なく年間驚異の陸地料2100円で設定。ヨットに乗るのみならず、絶えずの自然、海、ハーバーでの生活を楽しましました。これがこの機会に、多くの仲間も含めて、高齢と時期が重なり、健康であるのにヨットをやめることにつながらないことを願ってやみません。オリンピック招致は大変うれしく、江の島の知名度も来訪者も大きく発

展しますので、関係者様には大変ご苦労様です。私もできる限りの協力をし、成功で終われるよう願っています。

- 見るスポーツとして、直接観覧席で見られればいいが、ドローンや GPS 等を使用し、スマホ・タブレットやハーバーなどでの大画面で、応援する艇の様子・位置・航跡などが観られるようになったら良い。
- ディンギーは定期的な手入れが必要なため配慮願いたい。タイヤ式船台はタイヤに圧力がかからないような措置をしているので、保管先でも配慮願いたい。金銭保証という考え方はどうか。
- オリンピック後、同じハーバーの同じ場所に戻す確約がほしい。ロッカーも同様。
- 移動期間を明確にしてアンケート実施したほうが良い。
- 安易に江の島で開催を決めたのではないかと疑いたくなる。1964 年と現在では競技会の規模（関係者、取材者、機材）がまったく異なるのではないか。本気で検討（早めの白紙撤回含めて）をする必要があるのでは。
- 長期間で移動する場合、合宿所が江ノ島近辺にあるため、移動先に合宿所を移動しようか悩んでおります。もし、合宿所を移動する場合、何らかの援助をして頂くことはできませんでしょうか。
- 本学では、本学所有の艇とヨット部で保有する艇があります。包括的に負担が最小限となるようご配慮をお願いいたします。
- 僕らは人数が少なく、他大と合同で練習しないといけないほど、組織的に弱いので、できれば移動はしないでもらいたいです。
- 自艇で応援に駆け付けたいです。県政策局は組織委員会と連携して「ありとあらゆる手段」を検討して頂きたい。多々問い合わせをしても「まだ具体的には決まっていません」とタライ回しにあっている。
- 今の県の対応から判断しますと、素人集団の暗中模索の状態（もはや国立競技場の問題と同じ）。既存設備の利用を単純に考えた長・関係担当者らの浅はかな誘致に疑問を感じせざるを得ない。当時の江の島開催と現在の開催の規模は格段に違うことを想定していない為に起こったことによる、地域住民無視・利用者犠牲による開催は、ヨット競技・将来の繁栄に本当に成功するのか。むしろ犠牲の上に立った江の島開催ではなく、蒲郡開催のほうが問題なくスムーズに行われるのではないか。英断を期待したい。今なら間に合う。
- 足と体が不自由なのでなるべく動かしたくない。交通の便の良いところが良い。
- 以前封書にて送らせて頂いたのですが、反映されていないのがっかりしました。移動した際の陸置き料、移動先の陸置き料、移動費用、自宅に移動したあと戻れるのか等もっと具体的にお知らせください
- オリンピック ヨットレースは他の場所で開催すべきである
- 移動先でもディンギーが利用出来るクレーン設備が必要。現状と同様メンバ

ー料金で終日利用できる駐車場が必要。

- 施設運営者として利用者に対する責任を果たされるよう希望する。
- あまり乗艇していないので、逆にハイシーズンに乗れないのは痛い。負担の少ない方法を考慮して欲しい。
- 3トクレーンを使用しているが、移動先でもクレーン設備がある事が最低条件。お役所的な動きでは無く、利用者（ハーバー）の事も良く考えてほしい。
- 年齢を考えると、人生残り少なくなってきましたので、ぜひとも善処をしてほしい。移動期間の2年~3年はとても長く感じられます。共同でセーリング、釣りを楽しんでおります。この生活がうばわれるとなると、とても納得いきません。今まで何の為に一生懸命働いてきたのかと思います。
- 移動期間を短くして頂き、環境の良い江ノ島でヨットライフをエンジョイできるようご検討ください。年間使用回数等や年齢等を考慮して頂き、利用者の負担がかからないようご配慮ください。江ノ島で出来るだけ長くヨットが乗れることを希望します。
- 観客席とは具体的にどこのことか判りません。レースであれば海上でしか見られません。誘致するのであれば、このような調査は事前にしておくべきことと思います。今回の措置により江ノ島と離れてしまうヨットマンが多いと神奈川県にとって決して良いとは思えません。せっかく育てていたヨット熱を冷やしてしまうような政治であってはならないと考えます。
- 高齢で頻繁な艇の移動はできません。身体、金銭に負担のかからないよう配慮願いたい。
- マストを立てたまま保管希望です。また、ドライバースを希望します。この度は、様々な調整にお骨折り頂き、ありがとうございます。
- 学生のメリットとなるようなものを（ドローンの映像の配布など）、オリンピックセーラーによる講習会、オリンピックセーラーとの交流会、観戦艇の出艇、艇にカメラを載せて、その映像の配布。
- 常時、資金不足です。
- 今からでも他地域での開催を希望します。
- 本心移動には大反対。ユーザーにとって移動先における環境・交通手段江ノ島ヨットハーバーの仲間、人間関係等が長期続くと壊れてしまう。我々のメリットがなさ過ぎる。費用以外の負担が多すぎる。
- 予定期間はリスク大（台風・高温・南風（日本海に低気圧が入るだけで競技などできない）。秋に変更すべき。又軟弱なオリンピック選手では相模湾では無理です。
- 私の場合は、陸置きクルーザーなので移動先で2~3年間の不自由な管理は受け入れられない。神奈川県都合（受けたのだから）なので、我々利用者無視もはなはだしい。様々な費用については県でもってもらう。
- 現アンケートでは何も回答出来ません。移動することが前提で作成されてい

るが、私は協力することは未定です。県が勝手に招致したもので利用者の意見は反映されていない。まず、移動に当たっての条件提示またオリンピック終了後の未来像も見えて来ない。なお未記入だからと言って無条件に県の提示案を受け入れないことを事前通知致します。

- でき得る限り、移動はしたくありません。もし移動する場合は、台風等の異常気象に備えて十分なる係船設備を用意してください。また期間中の安全管理体制を整備してください。
- 上架艇のため船底塗装をしていないので、船台の運搬と船の移動を同日にしなければ、夏場に数日係留すると船底にフジツボ等が付着し大変なことになるので、係留艇とは扱いが違ふことに注意してほしい。以前、城ヶ島に船を置いていたとき、夏場は渋滞でたどりつけなかったり、帰宅に何時間もかかったことがあるので、三浦半島の先端に近いマリーナは不可。
- これだけの条件を理解協力するのですから、オリンピックへの観戦や入場等は認めるべきと思います。また、ボランティア等であればお手伝いしたいです。
- 相模湾に面したマリーナが葉山、逗子、油つぼ等沢山あります。各マリーナで工夫して、例えば艇の置場を狭くしてスペースを広げて江ノ島の艇の置場を確保する。相模湾のマリーナ全体で各々のマリーナーもオリンピックに協力する。
- オリンピックの為なら仕方ないが、乗れない期間が多いなら現有艇を処分して一時バースを返上したい。但し、オリンピック後再度開放する時、優先利用の保証をしてもらえればの事です。
- 江の島程度のスムーズな上下架作業
- 移動した所でクレーンの費用は県で支払って欲しい。
- オリンピックを応援したいとは思っていますが、個々への負担を強いることのない形でコミュニケーションをとって進めて下さい。
- 基本的に江の島ヨットハーバーからの移動を望みませんが、移動する場合、逗子・由比ガ浜のみ受け入れますので、ハーバーを整備してください。移動に当たっては、場所・条件について当事者の同意を必ず得てください。
- 湘南港に艇が置いてあるからこそ仲間が集まることができ、利用する価値があるわけであり、オリンピックありきでの利用者軽視の流れに納得できていないところである。県及びオリンピック委員会は利用が不利益を被らないよう最大限の保障を行うべきである。
- 艇のオーナーの了解なしにオリンピック開催を決めた事は理不尽。
事実 900 近くのディンギー、180 のクルーザーを他に移動する場合、移動場所はほとんど不可能。移動できたとしても自然災害、自身、台風等で船に破損があった場合の責任。災害に対処出来る場所、設置は相当無理があると思う。また、その破損の場合の責任はどこにあるのか？問題になると思う。ディンギーの場合、船だけでなく、船台はどうするのか？クルーザー陸置きの場合、

船の移動はどうするか？

- 47-8 年の江の島でのオリンピック開催できたのは参加国が少なかった。何もない所に新規ヨット・ハーバーができたので現在のように艇の移動がなかった。
- 子供が対象の OP での 2 年間は、2 年ヨットに乗れないと担当のマイナス
- 各学生も同じく 2 年十分な練習ができないことはマイナス
- 私は現在 60 歳代。クルーザーの各オーナーは全体的に 50 歳代後半から 70 歳代の人が多い。あと何年ヨットに乗れるかという年。そこでの 2 年間ヨットに乗れないのは非常に重い。
- 先般のオリンピックのレース海面を見ると広い海面になるので、湘南全体で協力するの一案。
- 海面には、定置網も多数ある。漁業関係者の理解も必要。
- 当然強めの風の場合船がコントロールできない場合があり、網の破損も考えられる。
- ガンバッテ下さい。
- 早期の個別交渉に積極的に応じます。移転先によって長期短期の希望が変わりますのでご配慮のほどよろしくお願いします。ベイサイドマリーナは遠方のためできれば避けたいと考えています。
- 1.艇の移動について早めに県の基本姿勢を明確にさせていただきたい。2.その際、費用は負担を少なくするか適切な検討するとかの表現ではなく県が全ての費用を負担すると明記して欲しい。3.一時的移動の場合も、強制ではなく各艇毎の要望を最優先で尊重してほしい。4.何でも反対ではありません。オリンピックも国家行事として大切なものですが、当方が平和に楽しんでいたハーバーライフがだめになることは、非常に苦痛です。県の立場、意向などもお聞かせいただき、こちらの要望なりとも聞いていただき、相談のうえ、民主的に対応して頂くようお願いいたします。
- これまでノルウェーカップや全日本 OP 選手権等で観覧艇としてご協力してきました。うちの艇は江の島に係留してある大型艇の中でも最も居住性が高く、コクピットも最も広いので観覧艇には最適です。オリンピックでも何らかのご協力ができればと考えています。
- 私共は 1964 年の東京オリンピック直後の 12 月以来、50 年以上に渡りクルーザーヨットを安全に係留させていただき誠に感謝いたしております。サラリーマンが仲間でヨットを所有し楽しむことの走りでしたが、県営ヨットハーバー湘南港のお陰と思っております。仲間は当時皆 20 代でしたが、今や高齢者となりました。元気でやってこれたのもマリンスポーツヨットの効用でありまだまだ続けたいと考えております。とはいえ、何しろ高齢者の集団ですので、何卒御高配を頂きたく存じます。
- 観覧艇しか考えられません
- できるだけ協力します。

- オリンピックは決定事項であり、致し方ないのですが、国として、県として、最大限のご配慮願いたい。
- 江ノ島湘南港は 50 年以上の歴史があり、他のマリーナと違って利用者間の人間関係も非常に密なものがあります。湘南港利用者は毎年恒例のヨットレース、障害者体験クルージングなどのボランティアでヨットライフを楽しんできました。開催に邪魔だから一時利用者を締め出すのではなく、現利用者がボランティアで参加できるような運営はできないか。利用者を一時的に締め出す形でのオリンピック湘南港開催の決定が利用者の頭越しに行われたことに憤りを感じます。
- オリンピック期間は夏のマリンレジャー真っ盛りの時です。セキュリティー上規制がかかりレジャー産業にもマイナス面もあり、オリンピック費用（税金）にて補償が発生すること考えられます。十分な予算の検討をお願いします。
- 移動先での艇の保管・保守の内容は、江の島レベルを希望します。
- 私たちの艇は揺れも少なく、安定したセーリングが可能です。ノルウエーカップでもボランティアとして、VIP の観戦艇として出航します。オリンピックの際も、要望があればVIP 観戦艇としてご協力します。
- オリンピック開催は歓迎ですが、江の島利用者を後回しで、利用者が犠牲を強いられる気がする。一時的に臨時の置き場やバース海面を拡張して、移動を最小限にして、その雰囲気を取り除きたい。
- 大会期間だけの移動ならその間乗れなくても可。長期なら普通に乗りたい。江の島から移動先までの交通費が必要。
- 現利用者を追い出すような対応はイメージが悪い。
- 前回のオリンピックに比べ、今回は規模が格段に大きくなるので江の島では無理。 運営艇は近隣の漁港利用で十分可能。江の島利用の必然性なし。ディンギーとクルーザーの陸置又は係留ごとに対応方法は全く異なる。関東地区のクルーザーの係留余地はほとんどない。 係留クルーザーの台風・シケに対する係留保管場所の安全性は最重要項目。破損事故が多い。
- 今回の江の島での開催にあたり、利用者のメリットが全く感じられない。利用者優先の施策や利用者にとって、オリンピック開催中のメリットを明確に提示すべき。特に移動に伴う金銭面や精神的な負担が大きいと思われるのでその辺りは最優先に解決すべき。そうでないと、移動に関して賛成、同意は絶対に出来ないし、オリンピックセーリング競技開催地としての同意も出来ない。
- 早めに 2020 年までの流れを決めてほしい。
- 江の島湘南港に係留権利が取れたので船を買いヨットを始めて 4 3 年。メンバーも近隣住民。できれば他の場所で開催してほしい。江の島ヨットハーバーにモーターボートは置けないはず。
- 第一希望に一切の金銭的な負担なく移動できるのであれば、前向きに検討できます。またオリンピックのボランティア活動に優先的に参加させていただき

たいと思います。

- 現在の江ノ島のバースを確保し外洋ヨットを購入し維持・管理し運営するまでに多大な時間と労力を費やし、多くの犠牲を払って現在に至っています。人生のかなりを投入したと思っています。それなのに突然それを1年半にわたり放棄しろ・協力しろと言われても誰も納得しません。60歳を過ぎての1年2年は取り返しのつかない時間です。この精神的な打撃に対する補償をどう考えているのでしょうか。
- 移動の必要性を納得できる具体的な説明がほしい
- 江ノ島は前回の東京オリンピック以来日本のヨット文化の中心地です。今回のオリンピック開催を理由に、今現在江ノ島でヨットを楽しんでいる人々を全員どかすということにどういう意味があるのか理解できません。江ノ島でオリンピック競技を行うことを否定するつもりはありませんが、オリンピックを契機に将来に向けてのレジェンドを残したいと考えるのであれば、現在のハーバーを拡張するなり、近辺に新しいマリーナを作るなどの方策が必要だと考えます。
- 平塚にせっかく良いハーバーを作ったのに現在釣り船屋だけの港になっております。ぜひヨットの係留も考えて欲しい。
- 一切の費用負担をお願いしたい。すでに貴殿が記載されたものに加え、当方が記載した移動に関する費用。船が江の島より遠方に移動された場合は乗艇毎の交通費差額。船が陸置きになった場合は、クレーン代、船台の負担も当然願います。陸電、水道が自由に使えるようにしていただきたい。江の島程度の駐車場を用意していただきたい。(費用も江の島と同じ) ロッカー、更衣室、シャワー、談話室等の用意をお願いしたい。上架してメンテできる設備、艇の修理を頼める岡本造船のような機能の設置 最後に、迷惑料としての補償金の支払いを求める。(半年分~1年分の保管料程度)
- オリンピック期間中であってもできる限り江の島からの移動は希望しない。オリンピックの趣旨より民間の力でもオリンピックを盛り上げるべく江の島に停泊している各艇に運営協力を求めることが第一義ではないか。内容次第では協力できることもある。追い出すことよりもまずは協力要請することを検討すべき。
- 観覧艇として、提供(お貸し)できるのであれば、現在のバースにオリンピック開催中も係留することを強く希望いたします。
- 前回の説明会の資料に漁港がありました。係留ヨットの移動先はポンツーン(棧橋)が必要です。点検補修で乗船の必要があり、又年配者が多いので必須条件です。漁港の場合、新設の必要あり、そして台風や荒天の際、大波をブロックする防波堤の中に配置しなければならない。又重要なのはセキュリティの確保が必要で、漁港での係留実現は設備・セキュリティの面から無理と考えます。移動期間をなるべく短くする交渉をお願いします。プレプレ大会は規模

によるが、レイアウトの検討で移動しなくて良い方法があるのでは？

- 何らかの形で協力する方針のため、できれば移動せずにそのままいたい。場所を移動するにしても、期間はできるだけ短く、またなるべく近場としていただきたい。前回のロンドンオリンピックではこの問題にどう対応したのかお聞きしたい。移動の費用、ハーバーでの保管料、移動に係る保険料のいずれも全額負担いただきたい。湘南港の利用者に大きな負担をかける代わりに、レースの観戦の優先権をお願いしたい。
- なぎさ事務所あてアンカーチェーンの位置が前回の回収の際にずれてしまっているのでこの機会に修正をお願いします。
- 色々書きたい事がありますが、今大きな間違いが起きています。なぎさパークの社長が間違った事を言っている事に反対したハーバースターを降格しました。自分に逆らう者は処分する。こんな事ではオリンピックどころではないでしょうか。こんな社長に県はどのような判断をしますか。ハーバースターを復権させるようお願いいたします。
- 江の島はオリンピックを返上して、本来の東京オリンピックらしく伊豆七島などで開いたらいかがでしょうか？大島や新島には広い漁港がありますよ
- 1 コンパクトな大会運営に徹する。2 東浜方面に浮き桟橋を設置する。台風等の避難方法は用件等。3 隣接道路を活用し、陸置き艇数を増やす。湘南港と小田急ヨットクラブを空間的に合体し、道路を迂回する。メンバーズでの共同運営であり、通常メンバーの平均年齢は60歳代で江の島近辺の在住です。移動の場合、活動条件の悪化が考えられます。多大な協力をするのであり、移動先での係留費の軽減が必要です。予備セール、荒天対策用品、レース運営用品等で6つの船具ロッカーを使用しています。大量備品の移動は考えられません。
- 移動期間を1ヶ月と想定しているが、現実的ではない。6～8ヶ月程度必要。きちんと状況を精査して早めに利用者へ広報、告知した方がよい。ヨット利用者は最低限の利用制限 利用制限期間中は利用料で免除 オリンピック後は従来と同じ場所で同じ料金で利用を再開できる保証があれば納得すると思う。江の島ヨットハーバーのスタッフの皆様は、外部からむやみに人を連れてくる、これまで関係の無かった人達がしゃしゃりでてくることがないように監督をお願いします。給油施設を作ることをおすすめする。オリンピック後にこうした施設が残り、利用者の利便性が上がることが分かれば、艇移動に関しての理解や協力が得られやすくなると思う。
- 移動先は事前に受皿を作り明示すべき。1000艇を超える艇の受皿を明示できない時点でオリンピックを受け入れることが考えられない。